

医学科 6 年山本祐輝さんが日本学生支援機構優秀学生顕彰優秀賞を受賞しました。

日本学生支援機構 優秀学生顕彰とは、経済的理由により修学に困難がありつつも、優れた業績を挙げた学生・生徒に対してこれを奨励・支援し、21 世紀を担う前途有望な人材の育成に資することを目的として平成 17 年度より実施しています。平成 29 年度はリオ五輪で活躍した選手らを含む 53 名が受賞しています。その中で、医学科 6 年 山本さんが、「文化・芸術」部門にて、優秀賞を受賞しました。

山本さんの受賞内容は、世界キューブ協会公式大会のうち、日本最大規模の大会やそれに準ずる大会において、ルービックキューブの配置を暗記し、見ずに解く目隠し系種目で複数回優勝し、日本記録を樹立したことによるものです。

山本さんは、ご自身の活動について、「私は医学の勉強をしており、大学卒業後は臨床の道に進む予定である。医学は覚えるべきことが多く、ルービックキューブとは比べ物にならないくらいの記憶量だ。しかし両者では記憶の性質が異なり、ルービックキューブは全く意味のない文字列を覚える必要があるが、医学はそれ自身意味を持っているものを覚えるため、全てを丸暗記する必要はない。意味のない文字列を覚えることの大変さは競技に取り組むことで身に染みて感じている。医学知識が本当に『記憶する』必要があるかどうかを判断し、どうしても覚える必要がある部分については、記憶について考察してきたこと(イメージ化して覚える、なるべく論理的に結び付けて覚える、感情の動きを意識する、等)を活用していきたい。」と述べています。

ルービックキューブを通して記憶することに自身で工夫を加え、様々な角度から記憶へアプローチすることで、すばらしい成績をおさめています。今後の活躍を期待しています！！

